東京都立農芸高等学校定時制課程・農芸科の特色

※ 農業の専門学科ですので、必ず学校見学をしてください。

○ 農業を学ぶ専門高校で、農業後継者・農業に興味のある生徒を育てます。
○ 基礎学力、応用力の向上に努め、検定試験を受ける指導を行っています。
○ １学年　定員３０名で４年間クラスが変わりません。原則２名の担任・副担で指導します。
○ 生徒はみんな元気で活発です。生徒比は、男子が７割・女子が３割です。生徒数は５０名です。
○ ４年間で農業科目は1/3・普通科目は2/3　を　学びます。令和４年度より教育課程が変わります。
○ 習熟度別授業、少人数授業が認められ分割授業を行っています。

○ 授業時程　１限　午後 5:20　～　午後　6:05　　２限　午後 6:10　～　午後　6:55
給食　午後 6:55　～　午後　7:20　　３限　午後 7:25　～　午後　8:10
４限　午後 8:15　～　午後　9:00　　部活動　午後 9:00　～　午後　9:55
○ 午後９時まで授業があります。小雨小雪等でも野外の実習を行います。

○ 土に触りますので、実習後の手洗いはしっかり行ってください。
○ 作物観察や昆虫、作物の害虫等に触たり、観察を行います。
○ 草取り、雑草観察、作物の病気観察、誘引　作物の育成管理を行います。
○ 種から収穫・開花まで、育成記録・育成実習・レポートが毎回あります。
○ 多様な生徒にきめ細かく対応していくため、進学研究機関、教育相談の充実と強化を図り、授業と進路に取り入れていきます。
○ 東京都教育相談センター、児童相談所、子供病院、進学機関、特別支援学校等と連携をしながら、「一人で生きる力、生きる術」を育成します。
○ 生活活動、学習課題、心の課題等について進学機関、特別支援学校等と人的交流、教員交流、生徒交流を行います。また、大学短大専門学校、特別支援教育関連施設、東京都教育相談センター等に研修出張及び講師を招き校内研修を開催し生徒理解を行います。
○ 進路指導は大学短大専門学校、進学機関、特別支援学校、ハローワーク等と相談の上進路指導を行います。
○ 郊外学習・行事(庭園見学・ボランティア活動・遠足など)があります。
○ 自ら考え、自ら進んで「生きる力」をつけるために、手をかけず見守ります。
○ 生徒の特長
○ 学校の雰囲気
○ 農芸高校が出来ること

○ 入試について

推薦（本校定時制はありません）	１月２６日　２７日	合格発表　２月２日
一般	２月２１日	合格発表　３月１日
全日制２次試験	３月　９日	合格発表　３月１５日
定時制２次試験	３月２５日	合格発表　３月２８日
全日制３次試験	３月中	
定時制３次試験・４次試験	４月上旬　～　４月下旬	

取り下げ　再提出　　で　　定から定　　全から定　は　原則できません
定数　教科は　１０月１日以降　で　新聞報道されてから　説明いたします

※ まだまだテスト点は上がります。あきらめないで頑張ってください。
※ 嫌いな科目は少し努力して　好きな科目はサクサク勉強し伸ばしましょう

中学生の皆さん、質問や相談がありましたら農芸高校までご連絡ください。03-3399-0191

東京都立農芸高等学校・定時制課程.　農芸科

令和４年度入学生　新教育課程

	普通科目	49～51＋1	農業科目	25～27	合計
	１年	２年	３年	４年	81
1	現代の国語	言語文化	文学国語	文学国語	
2	現代の国語	言語文化	文学国語	文学国語	
3	現代の国語	地理総合	歴史総合	体育	
4	公共	地理総合	歴史総合	体育	
5	公共	数学Ⅰ	数学A	英語コミュニケーションⅡ	
6	数学Ⅰ	数学Ⅰ	数学A	英語コミュニケーションⅡ	
7	数学Ⅰ	生物基礎	体育	国語・数学・英語・農業	
8	科学と人間生活	生物基礎	体育	国語・数学・英語・農業	
9	科学と人間生活	体育	英語コミュニケーションⅡ	英語・数学	
10	体育	体育	英語コミュニケーションⅡ	英語・数学	
11	体育	保健	総合実習	総合実習	
12	保健	英語コミュニケーションⅠ	総合実習	総合実習	
13	音楽・美術・書道	英語コミュニケーションⅠ	農業と情報	農業と情報	
14	音楽・美術・書道	家庭基礎	農業と情報	課題研究	
15	英語コミュニケーションⅠ	家庭基礎	課題研究	課題研究	
16	英語コミュニケーションⅠ	総合実習	食品加工・園芸デザイン	園芸デザイン・食品加工	
17	農業と環境	総合実習	食品加工・園芸デザイン	園芸デザイン・食品加工	
18	農業と環境	野菜生産	草花生産	生物利用	
19	農業と環境	野菜生産	草花生産	生物利用	
20	人間と社会	LHR	LHR	LHR	
	LHR				

農芸高校定時制課程の特長

農業後継者・農業、環境に興味のある生徒の育成

SDGsに興味のある生徒の育成

農業は科学、生物、化学、昆虫、動物、気象学、経済学、環境学等の総合科学です。

制服はありません

互いを認め合い、共生しあう学校生活